

県外派遣報告書

審判員名	田中 美寿紀	所属	高体連			
大会名	平成25年度 関東ブロック女性講習会					
期間	平成25年7月13日(土)・14日(日)					
会場	順天堂大学 さくらキャンパス(バスケットボール館)					
スケジュール						
期 日	内 容	場 所				
7月13日(土)	ルールテスト、フィットネステスト	順天堂大学さくらキャンパス				
7月14日(日)	実技	順天堂大学さくらキャンパス				
会議 講義 内容						
<p>審査委員長小林哲夫氏より レフリーは、オーケストラでいうと指揮者である、ゲームを始めて終わらせる役割がある。その中で、ルールに基づいて導いていくことが必要である、というお話をいただきました。</p> <p>関東協会審判委員長安西郷史氏より 講習会は、新しいことを行うのでなく日々の活動の確認の場である。緊張で力が発揮できなかったというのも実力。自分がここまでやってきたことを持っている力を出して下さい、というお話をいただきました。</p>						
実技						
担当試合	期 日	平成25年7月14日(日)		男子 女子	女子	
	対戦カード	東京成徳大学	VS	六実レイダース	主審	副審
	相手審判	古本 奈津子(山梨県)				
ミーティング内容				主任	佐藤 誠氏(千葉県)	
<p>次のことについて御指導いただきました。</p> <p>○メカニクについて ボール中心になっていることによって、自分の見るべきところが見られていない。また、二人で同じところを見てしまい、見れていない所があるので、相手審判を意識して位置取りをする。トレイルから見えないところ、リードから見えないところをお互いにカバーできるようにもう一度メカニクを確認することが必要である(二人の協力)。</p> <p>○プレーをみる位置 見る位置が悪いと、ブラインドで吹いていたり、判定ができていないことが多い。ストレートラインにならないように、位置の工夫(ディフェンスとオフェンスの関係が見える所)について、具体的に場面を設定し、説明していただきました。</p>						
全体の感想						
<p>メカニクを正しく理解すること、そして二人で協力してゲームを適切に進めていくことが大切であることを感じました。自分自身の中で見たいところに動くというだけでなく、何のためにそこへ行くのか、ディフェンスとオフェンスの関係、選手が何をしようとしているのか、相手審判の位置は? など様々なことを意識しながら、位置取りをしていくことについて改めて考えるよい機会となりました。講習会に参加させていただき多くの課題があることを再認識しました。プレーの理解やメカニクについて、しっかり勉強し直していきたいと思えます。そして、今回感じたことや学んだことを次に活かしていくとともに、還元していきたいと思えます。</p> <p>今回このような機会を与えて下さったことに感謝いたします。また、千葉県の皆様には2日間大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。</p>						